

創立 50 周年 会報特別記念号

50年のあゆみ



一般社団法人
東村山青色申告会

「創立50周年記念」会報特別号 発行にあたり

一般社団法人東村山青色申告会

会 長 おおわだあきのり
大和田 明德



当会は東村山税務署の新設により、武蔵野青色申告会より田無・保谷・清瀬・東久留米支部と、立川青色申告会より小平・東村山支部が合同し、昭和48年7月18日創立しました。

創立当時の会員数は3,548名、職員数はわずかに3名でした。

以来半世紀にわたり一貫して「正しい記帳に基づく適正申告」と申告納税制度の普及育成に尽力してまいりました。

創立10周年の記念式典の中で、当時の佐々正達会長が会館建設を宣言されたことから会員・役員・職員全員が一丸となり、昭和60年2月、宣言から僅か2年後には自前の会館を建設。続いて翌61年にはコンピュータの導入とともに事務の効率化を推し進めることになりました。

平成7年には、地域社会への貢献、組織の基盤を一層堅固に確立することを目的に公益法人(社団法人)へと組織改変致しました。役員・職員が一体となり安心して会員の増強に励み、西暦2000年(平成12年)には会員数1万人を突破し、平成15年度には、創立30周年事業として会員数12,000名達成と当会オリジナル会計ソフト「Let's Try 青色申告」の開発に取り組み、会員数を12,047名とし、「Let's Try 青色申告」は初年度利用者700件余りと、それぞれその成果を挙げました。

令和5年現在、会の様々な事業の実施と順調な運営ができるのも、500名もの地域役員によるご協力、そして東村山税務署のご理解あるご指導とご支援の賜ものであり、東京税理士会東村山支部の諸先生方の厚き友情のおかげと心より感謝申し上げます。

ここに、「創立50周年記念」会報特別号を発行するにあたり、当会は、従前にも増して健全な納税者団体として、自計に基づく誠実な記帳と正しい申告・納税を継続し、公平な税制と円滑な税務行政の確立に力を尽くすべく決意を新たにします。

今後とも、税務当局はじめ関係諸官庁並びに友好団体各位の一層のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

- 祝辞 - 創立 50 周年を迎えて

東村山税務署

署長 もと はし みのる
本橋 稔



一般社団法人東村山青色申告会が、創立 50 周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、貴会員の皆様方には、日頃から、税務行政に対しまして深いご理解と多大なるご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

貴会は、昭和 48 年 7 月の発足以来、青色申告の普及と記帳水準の向上を目的として積極的かつ果敢に事業活動を展開され、今日では、全国屈指の会員を有する青色申告会として盤石な組織を築き上げてこられました。

これは大和田会長をはじめ、歴代会長を中心に役員、会員並びに事務局の皆様方が、活発な事業活動を通じて広く納税者の方々に対し、青色申告の普及と記帳水準の向上にご尽力いただいた成果であると考えております。

長きに渡りまして、確定申告期の「青色コーナー」で青色申告の勧奨や記帳方法のアドバイスに従事いただくほか、納税者自らが正しく記帳や決算を行うことを目的とした記帳説明会等では指導活動によるご支援をいただいております、厚く御礼申し上げます。

更には、経済社会のデジタル化に早期から対応され、平成 15 年度に創立 30 周年記念事業として会計ソフト「Let's Try 青色申告」を独自に開発することで記帳水準の向上を図られるほか、令和 3 年に共同開発された「あおいろアプリ」では、メッセージ機能等を使用することによる効果的な周知・広報を実施される等、ICT を積極的に活用した事業活動を幅広く展開され、適正な申告・納税に重ね 重ね貢献されてこられましたことに深く敬意を表します。

税務署といたしましても、税務行政の DX を更に進め、e-Tax による申告や ICT を利用した記帳などデジタル化による納税者利便の向上や事業者のデジタル化促進になお一層取り組むこととしておりまして、貴会員の皆様方と個人事業者における記帳水準の維持・向上について、引き続き、連携・協調して取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びにあたり、創立 50 周年という大きな節目となるこの年が東村山青色申告会の一層の飛躍の年となりますよう、また、貴会員の皆様方の益々のご健勝と事業のご繁栄を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立 50 周年、誠におめでとうございます。

おもな出来事

昭和48年度 創立

昭和48年7月13日、田無農協本店2階に事務所を借用し、武蔵野青色申告会から3名の職員を転入。事務局の運営は開始された。

創立総会は、7月18日東村山農協本店で開催された。初代会長に佐々正達氏、副会長には濱中一夫・相田武憲・増田直夫・石田隆治・高橋朝生・泉喜作の各氏が選出され、事業活動方針が定められた。

昭和59年度 会館建設

創立10年目を迎え、会員数は5,953名に至る。事務局が狭小となり、昭和57年8月理事会において、自前の会館の取得を議決。昭和60年2月落成式を挙行了した。



当時の会館の写真

平成7年度 社団法人設立

5月9日 社団法人設立記念式典 立川平安閣
式典には、岡田康彦東京国税局長をはじめ渡邊文夫東村山税務署長、吉田友彦東京税理士会東村山支部長ほか官庁ならびに関係団体より多数のご来賓をお迎えした。式辞では、当時濱中会長が「本日を契機にさらなる飛躍と会員各位にとって益々魅力のある会を作っていきたい」と述べた。

また、岡田国税局長からは「適正かつ公平な税務行政において、青色申告会の協力は不可欠であり、今後は地域社会に根差した活発な会活動と他会の規範となるように」と社団法人1年生への激励を込めた祝辞を戴いた。

平成 12 年度 会員数 10,000 人超え

平成 11 年度、「羽ばたけ 2000 年目指せ 1 万人の会員」を旗印に、会を挙げて会員増強に取り組んだ結果、目標を達成し平成 12 年 4 月 1 日、10,108 名の会員数に至った。奇跡的な会として冊子「税のしるべ」に掲載もされた。

会員紹介キャンペーン

2000年(平成12年)3月31日まで

羽ばたけ2000年 目指せ1万人の会員

この期間中にご紹介くださった方には、もれなく粗品を差し上げいたします。

社団法人東村山青色申告会

東村山市本町3-9-116
☎042-394-4523

ご紹介ください！新しい仲間を！

当時の発行チラシ 「羽ばたけ 2000 年目指せ 1 万人の会員」

平成 19 年度 現在の会館を設立



現在の会館の写真

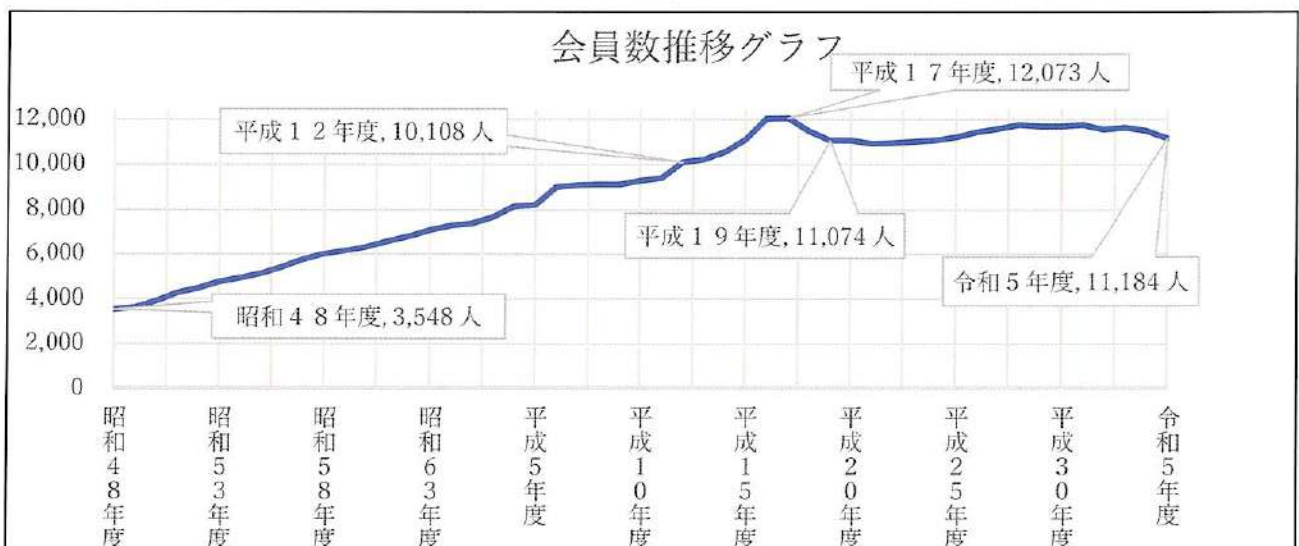
平成 17 年度会員数は 12,000 人を超え、会館は再び狭小となった。築年数も 20 年を超え老朽化が顕著となり、新たな会館を建設。現在の会館となる。

平成 24 年度 一般社団法人へ移行

公益法人制度改革にもとづき、平成 24 年 4 月、一般社団法人に移行。

● 会員数の推移グラフ

※ 会員数は、各年度 4 月 1 日時点



年表 当会の歴史

年度	会員数	創立記	会の活動	社会活動及び連合会活動	年度当初担当幹部	予算・会費
昭和48年	3,548人	創立	◆昭和48年7月18日設立 ・東村山青色申告会を設立するにあたり、武蔵野青色申告会・立川青色申告会からそれぞれ分離し、小平市 東村山市 旧田無市 旧保谷市 清瀬市 東久留米市6市を受持つ	・第一次オイルショック始まる	署長 塩沢 精一 副署長 柴田 貞男 1統括 佐藤 季夫 会長 佐々 正達	1,900万円 月額 500円
49年	3,646人	1期	◆東村山青色申告会の事務所を東村山市本町1-20-27に移転 ◆役職員合同研修会を発足 ◆税理士会との懇親会を発足	・ジャイアンツ長嶋茂雄引退 ・全国青色申告者代表大会開催 ・「税を知る週間」がスタート	署長 塩沢 精一 副署長 柴田 貞男 1統括 佐藤 季夫 会長 佐々 正達	3,000万円
50年	3,907人	2期	◆役員研修会を発足 ◆労働保険事務組合を組成	・ベトナム戦争終わる ・フランスで第1回サミット開催	署長 田村 一 副署長 木越 義勝 1統括 佐藤 季夫 会長 佐々 正達	3,700万円 月額 600円
51年	4,274人	3期	◆青色学級初めての講座を開催	・ロッキード事件発覚	署長 田村 一 副署長 木越 義勝 1統括 石井 勲 会長 佐々 正達	4,000万円
52年	4,484人	4期	◆青年部・婦人部の各発足	・王貞治選手、ホームラン世界一達成	署長 豊住 文雄 副署長 山口 清一 1統括 石井 勲 会長 佐々 正達	4,400万円
53年	4,780人	5期	◆東村山青色申告会5周年記念式典開催	・日中平和友好条約、北京で締結 ・新東京国際空港（成田）開所式	署長 豊住 文雄 副署長 山口 清一 1統括 根岸 昭二 会長 佐々 正達	4,700万円
54年	4,952人	6期	◆青色共済人間ドックを初めて開催	・第2次オイルショック	署長 須貝 秀敏 副署長 木戸 昌行 1統括 柿原 隆則 会長 佐々 正達	4,800万円
55年	5,155人	7期	◆会員指導は全て職員が行う ◆自計可能者に記帳確認運動開始	・ジャイアンツ王貞治引退	署長 須貝 秀敏 副署長 木戸 昌行 1統括 柿原 隆則 会長 佐々 正達	5,600万円 月額 800円
56年	5,412人	8期	◆確定申告早期申告デーを推進(現在の一括提出)	・福沢諭吉が1万円札に	署長 宮澤 義幸 副署長 池田 弘和 1統括 高津 和二郎 会長 佐々 正達	7,000万円
57年	5,776人	9期	◆東村山青色申告会10周年記念式典開催 ◆会館建設を宣言	・ホテルニュージャパンで大火災 ・フォークランド紛争で軍事衝突 ・上越新幹線開通	署長 宮澤 義幸 副署長 山田 清人 1統括 高津 和二郎 会長 佐々 正達	7,900万円
58年	6,021人	10期		・青木功、プロゴルフツアーで日本人男性初の海外優勝 ・大韓航空機、サハリン上空で撃墜	署長 篠原 忍 副署長 山田 清人 1統括 中尾 政敏 会長 佐々 正達	9,400万円 月額 1,000円
59年	6,172人	11期	◆東村山青色申告会会館を東村山市本町3-9-116に建設 (落成式昭和60年2月)	・グリコ、森永脅迫事件 ・全英女子オープンゴルフ選手権大会、岡本綾子優勝	署長 幸福 啓次 副署長 横山 眞之 1統括 中尾 政敏 会長 佐々 正達	9,800万円
60年	6,347人	12期	◆「味と税を知る会」を初めて開催	・科学万博つくば'85開幕 ・日航ボーイング747、群馬県御巣鷹山山中に墜落	署長 幸福 啓次 副署長 赤羽 孝雄 1統括 伏見 高治 会長 佐々 正達	10,900万円
61年	6,587人	13期	◆初代オフィスコンピューターを導入 ①事務の合理化 ⇒ 会員管理 ②指導体制の確立 ⇒ 職員による指導 ③役員活動の確立 ⇒ 会員増強と事業展開	・シャトルチャレンジャー、爆発事故 ・チェルノブイリ原発、爆発	署長 小林 多嘉雄 副署長 赤羽 孝雄 1統括 伏見 高治 会長 相田 武憲	11,400万円
62年	6,814人	14期	◆スバル車両の斡旋業務開始	・国鉄、J R新会社に分割発足 ・岡本綾子、米女子プロゴルフ賞金女王 ・NTT株狂騰、160万円で初値	署長 小林 多嘉雄 副署長 小林 安田 1統括 相田 武憲 会長 相田 武憲	12,000万円
63年	7,099人	15期	◆2代目オフィスコンピューターを導入 ①職員全員に端末 ②決算指導等の全コンピューター化 (目的)過年度や同業他社との比較による経営分析	・青函トンネル開業	署長 佐藤 秀一郎 副署長 中島 守也 1統括 菅原 英典 会長 相田 武憲	13,200万円
平成元年S64	7,301人	16期	◆確定申告協議会発足	・1月7日 天皇陛下 崩御 ・国民的歌手 美空ひばり逝去 ・東証1部株価、37,000の台に ・消費税スタート	署長 佐藤 康一 副署長 中島 守也 1統括 菅原 英典 会長 相田 武憲	13,700万円
2年	7,386人	17期		・株価暴落、バブル経済に亀裂 ・東西ドイツ統一	署長 佐藤 康一 副署長 近江 修 1統括 岡田 攻 会長 濱中 一夫	13,900万円
3年	7,661人	18期	◆確定申告期協力者感謝会の発足	・湾岸戦争勃発 ・地価税法成立 ・雲仙普賢岳で大規模な火砕流発生	署長 藤本 和昭 副署長 近江 修 1統括 岡田 攻 会長 濱中 一夫	14,000万円
4年	8,161人	19期	◆3代目オフィスコンピューターを導入(平成4年11月) ・指導会場での源泉及び決算指導が可能となる ◆国民年金基金相談所を開設 ◆青色コーナーに女性部だけの日を設定	・天皇陛下、史上初の中国ご訪問	署長 西村 恵 副署長 木谷 聖三 1統括 福泉 光國 会長 濱中 一夫	13,300万円

5年	8,223人	20期	◆東村山青色申告会20周年記念式典開催 ◆会員増強委員・事業委員を発足 ◆事務局利用者数がのべ1万人突破 ◆一支部一事業の展開	・徳仁皇太子、雅子さま御成婚 ・冷夏で大凶作、コメを大量輸入 ・Jリーグ開幕	署長 渡辺 好太郎 副署長 木谷 聖三 1統括 福泉 光國 会長 濱中 一夫	14,000万円
6年	9,005人	21期	◆社団法人設立（平成7年1月12日）	・「自社さ」で、村山政権誕生 ・記録的猛暑、空前の洪水被害	署長 渡邊 文夫 副署長 山田 弘 1統括 佐藤 安弘 会長 濱中 一夫	14,400万円
7年	9,083人	22期	◆会費を口座引落に ◆理事・監事合宿研修会を開催 ◆市民祭りに初めて参加し、広報活動を行う ◆女性部を中心に、レク・カルチャー活動を活発に開催	・阪神淡路大震災 ・野茂、米MLBで新人王 ・地下鉄サリン事件発生	署長 福井 喜一郎 副署長 佐々木 義勝 1統括 佐藤 安弘 会長 濱中 一夫	14,500万円
8年	9,113人	23期	◆会員福利厚生委員会を発足し初詣日帰り旅行を実施 ◆会員向け事業が毎月展開(年間19回、参加者1,104名)	・病原性大腸菌O157食中毒事件 ・香港を中国に返還 ・英で狂牛病問題	署長 福井 喜一郎 副署長 赤平 公正 1統括 佐々木 勉 会長 濱中 一夫	13,900万円
9年	9,130人	24期	◆会員総合情報誌「インフォメーションガイド」創刊 ◆「税金ミニ情報」発行開始	・行革、1府12省庁に再編 ・島根沖でロシア tanker 重油流出事故、深刻な漁業被害発生 ・消費税5%へ	署長 小林 高德 副署長 赤平 公正 1統括 佐々木 勉 会長 濱中 一夫	14,300万円
10年	9,303人	25期	◆4代目コンピューターとしてパーソナルコンピューターを導入しインターネット利用可能に ◆青色コーナーの女性部の日を14日間に	・フットボールW杯フランス大会に日本初出場 ・長野冬季五輪開催	署長 石毛 昭司 副署長 下井 正明 1統括 佐々木 勉 会長 濱中 一夫	18,700万円
11年	9,419人	26期	◆「羽ばたけ2000年目指せ1万人の会員」を掲げ会員増強運動を展開 ◆会員生活総合サービスの提供を開始	・東海村核燃料JCOで臨界事故	署長 石毛 昭司 副署長 下井 正明 1統括 吉岡 正治 会長 濱中 一夫	17,200万円
12年	10,108人	27期	◆パソコン講習会を初めて行う ◆初めて駅前で広報活動を行う	・介護保険制度スタート ・シドニー五輪、女子マラソンで高橋尚子選手金メダル ・カールSシャープ博士逝去	署長 武澤 忠臣 副署長 水野 武司 1統括 吉岡 正治 会長 濱中 一夫	17,600万円
13年	10,227人	28期	◆確定申告書新様式の講習会開講 ◆会員増強チラシのポストインを実施	・米同時多発テロ ・ベイオフ制度解禁 ・大阪U.S.Jが開園	署長 佐野 新吾 副署長 水野 武司 1統括 田中 康義 会長 濱中 一夫	16,300万円
14年	10,571人	29期	◆東村山青色申告会30周年事業の一環として、会員数11,000名に取り組む	・日朝首脳会談、拉致被害者5人帰国 ・日韓共催サッカーW杯開催	署長 阿部 武光 副署長 音 政次 1統括 田中 康義 会長 濱中 一夫	16,500万円
15年	11,122人	30期	◆東村山青色申告会30周年記念式典開催 ◆記念事業として「Let's Try 青色申告」開発 ◆青色コーナーで過去最多の827件の入会者	・イラク戦争開始 ・SARS大流行	署長 高橋 勝茂 副署長 音 政次 1統括 平田 勝亮 会長 濱中 一夫	16,600万円
16年	12,047人	31期	◆会員登録数12,000名を超える ◆複式簿記講習会受講者が年間350名を超える	・新潟中越地震 ・拉致被害者家族帰国	署長 佐藤 孝一 副署長 垣永 静吾 1統括 秋田 聡 会長 濱中 一夫	16,900万円
17年	12,073人	32期	◆青色申告特別控除65万円適用者が1,000名を突破	・消費税免税点1,000万円へ ・青色申告特別控除55万から65万円へ引上げ	署長 夏目 幸人 副署長 垣永 静吾 1統括 秋田 聡 会長 濱中 一夫	16,800万円
18年	11,485人	33期	◆会費の改定(月額1,000円から1,600円) ◆当会を通じ所得税・消費税の合計申告数が10,000件を超える	・人口減少時代へ ・米朝首脳会談開催	署長 夏目 幸人 副署長 豊岡 清行 1統括 今川 隆法 会長 濱中 一夫	19,800万円 月額 1,600万円
19年	11,074人	34期	◆東村山青色申告会会館を現在の東村山市本町3-8-16に建設(落成式平成19年12月) ◆法律相談・税務相談を開始	・郵政民営化 ・食品偽装事件 ・年金記録未統合問題発覚	署長 高田 敏夫 副署長 豊岡 清行 1統括 今川 隆法 会長 濱中 一夫	21,700万円
20年	11,082人	35期	◆会員福利厚生事業に年間最多1,611名が参加	・世界的金融危機、リーマンショック ・後期高齢者医療保険制度スタート ・北京五輪で北島康介連続2冠	署長 津坂 昇 副署長 山口 雅伸 1統括 三浦 信一 会長 濱中 一夫	21,200万円
21年	10,957人	36期	◆「みんなでe-Tax」に取り込み、所得税のe-Tax件数が7,653件となった	・裁判員制度始まる ・政権交代(民主党圧勝) ・事業仕分け導入	署長 渡辺 安夫 副署長 山口 雅伸 1統括 鷲津 弘幸 会長 濱中 一夫	20,500万円
22年	10,963人	37期	◆消費税もe-Tax対応を開始	・平成の大合併が終了 ・中国漁船が尖閣沖領海侵犯で衝突 ・小惑星探査機はやぶさ帰還 ・日本航空経営破綻	署長 渡辺 安夫 副署長 澤田 敬明 1統括 齊藤 康弘 会長 濱中 一夫	20,500万円
23年	11,032人	38期	◆青色コーナー日曜日も開設	・東日本大震災発生 ・地上デジタル放送へ移行 ・なでしこジャパンW杯優勝	署長 橋山 俊明 副署長 前野 良明 1統括 齊藤 康弘 会長 内山 秀雄	20,800万円
24年	11,079人	39期	◆一般社団法人を設立(平成24年4月1日)	・東京スカイツリー開業 ・自民政権奪還	署長 黒坂 昭一 副署長 前野 良明 1統括 齊藤 康弘 会長 内山 秀雄	20,800万円
25年	11,230人	40期	◆東村山青色申告会創立40周年 ◆市役所の封筒に広告として掲載開始	・富士山世界遺産登録 ・アベノミクス始動	署長 黒坂 昭一 副署長 佐野 文彦 1統括 川向 康司 会長 内山 秀雄	20,700万円

26年	11,458人	41期	◆パナソニックホーム(株)と業務提携 ◆一人親方労災保険の青色申告会建設業組合設立	・御岳山噴火 ・青色発光ダイオードでノーベル賞 ・リニア中央新幹線工事着工 ・消費税率8%へ	署長 齋藤 文雄 副署長 小川 径弘 1統括 川向 康司 会 長 内山 秀雄	20,000万円
27年	11,599人	42期	◆相続税セミナー開催	・安全保険関連法成立 ・米キューバ国交回復 ・北陸新幹線開業	署長 佐藤 栄記 副署長 小川 径弘 1統括 山口 勉 会 長 内山 秀雄	20,500万円
28年	11,766人	43期	◆租税教育による「親子税金バスツアー」を開始 ◆パナホーム工場見学を開催	・米オバマ大統領広島訪問 ・マイナンバー制度スタート ・熊本地震発生 ・日銀マイナス金利初導入	署長 高須 貢 副署長 佐々木 正直 1統括 原木 融 会 長 内山 秀雄	21,100万円
29年	11,714人	44期	◆相続税の改正が行われる	・桐生祥秀選手が100m9秒98の日本記録を樹立	署長 鈴木 芳典 副署長 佐々木 正直 1統括 原木 融 会 長 内山 秀雄	21,500万円
30年	11,728人	45期	◆相続税の基礎知識セミナー開催	・平昌五輪で日本は冬季最多13メダル獲得 ・米朝首脳会談開催 ・西日本豪雨、死者220人超	署長 小原 隆 副署長 大塚 聡 1統括 西田 敏幸 会 長 内山 秀雄	21,800万円
令和元年H.31	11,763人	46期	◆青年部プロジェクトチーム発足	・天皇即位(令和に改元) ・ラグビーW杯日本大会(ベスト8) ・消費税10%へ、軽減税率導入 ・渋野日向子全英女子オープン優勝	署長 知見寺 仁 副署長 大塚 聡 1統括 西田 敏幸 会 長 大畑 明德	21,500万円
2年	11,580人	47期	◆新型コロナウイルスにより全ての事業活動中止、また感染防止協力金の手続き開始	・首里城原因不明の火災で焼失 ・新型コロナウイルスで五輪延期 ・志村けんさんコロナウイルスで逝去 ・鬼滅の刃が流行	署長 浅沼 淳幸 副署長 三井 康二 1統括 武田 章 会 長 大畑 明德	21,400万円
3年	11,644人	48期	◆青年部員募集開始 ◆「Let's Try 青色申告」PVをYou tubeにアップ	・東京初ビッグバリンピック開催 ・コロナワクチン接種開始	署長 丸山 聖司 副署長 柏木 正治 1統括 石井 正 会 長 大畑 明德	21,300万円
4年	11,523人	49期	◆インボイス発行事業者の登録の受付開始	・安倍晋三元首相銃撃事件 ・藤井聡太棋士10代初の5冠達成 ・ロシア、ウクライナへ侵攻	署長 三島 敏彦 副署長 柏木 正治 1統括 石橋 康昭 会 長 大畑 明德	21,900万円
5年	11,184人	50期	◆東村山青色申告会50周年 ◆インボイス制度開始	・新型コロナウイルス5類移行へ	署長 本橋 稔 副署長 平山 雅紀 1統括 水井 秀法 会 長 大畑 明德	22,100万円

創立50周年 会報特別記念号
50年の歩み

発行 一般社団法人東村山青色申告会
〒189-0014 東京都東村山市本町 3-8-16
電話 042-394-4523(代表)